

未来・ねりまニュース

平成21年1月

第2号

社会福祉法人未来・ねりまを支える会会報

目次

地域ネットワークについて・・・P1
利用者のニーズに応えるには・・・P1
就職者の紹介・・・P2
継続支援事業だより・・・P3
行事だより・・・P3
事務局だより・・・P4
支える会だより・・・P4

発行所 社会福祉法人未来・ねりま

〒176-0013 東京都練馬区豊玉中 4-10-6

TEL 03-3948-0275 FAX 03-3948-5864

法人 E-mail honbu@mirai-nerima.or.jp

移行支援 E-mail ikou@mirai-nerima.or.jp

継続支援 E-mail keizoku-1@mirai-nerima.or.jp

ホームページ <http://www.mirai-nerima.or.jp>

「利用者のニーズに応えるには」

ねりま福祉作業所がねりま事業所になり、1年と9ヶ月が経ちました。それにともない、様々な面で変化がありました。私の中の最も大きな動きとして、個別支援計画の作成があったと思います。

当時私は職員として2年目でしたが、支援計画作成のための面談を行い、そこで日々接し、よくわかっていると思っていた利用者が、思ってもみなかったような目標や希望を持っていることを知りました。また、利用者一人ひとりの持つニーズの違い、多様性にも考えさせられることが多かったです。

初年度はそれらのニーズにどう応えていくか・・・ということばかりを考えてきましたが、3回の個別支援計画の作成を経て、今の自分が、皆の本当のニーズ（主訴）に気付いてあげられているのか考えるようになってきました。

「利用者の求める本当の主訴を知るためには、福祉従事者の高い知識と人間性が求められる」と学校で教わってきましたが、何度も面談を行うことでそのことの正しさと、自身にそれだけの知識と人間性があるのだろうか・・・ということを感じさせられました。

これからも自身を磨き、より多くのニーズに気付き、応えられるように、日々の業務に励んでいきたいと思えます。（大橋 恒介）

「地域ネットワークについて」

今から数年前、長野県で仕事をしていました。地域ネットワーク会議によく参加していました。まだ立ち上げたばかりだったので全てが手探りの状態でしたが、地元の企業、医療、教育、福祉、行政関係者が一堂に会して情報を交換し、障害をもった全ての方の生活を支援していこうと熱く議論を交わしていました。

そこで感じたことは、一人の方が、地域で生まれ育ち、社会に出て生活していくその全ての過程で多くの人が関わり、なお且つ、それが、一つの線で結ばれているということでした。個別移行支援という考え方は、今では当たり前のようになっていますが、昨今の報道等で取り上げられている様々な事件や、経済不況により、住む所を失い、誰にも頼ることのできず、苦しんでいる人を見ると、もう一度、「地域で支えあい、安心して暮らしていくこと」即ち、今まで以上に、より強固なネットワーク体制を作り上げていかなければいけないと強く思います。

現在、練馬区就労ネットワークの会議に参加させていただき、発言させていただく機会も増えました。今後は、更に多くの方と連携を取りながら、取り組みをしていきたいと思えます。（柴山 耕史）

就職者の紹介

○村上三十司

9月より株式会社ビューティ花壇で、葬祭で使用する花壇作りの仕事に就きました。入社当初は会社で役にたっているのか不安だったとのことでしたが、今では職場の方々とのコミュニケーションを取りながら自信を持って仕事ができるようになりました。

仕事内容は、葬祭の祭壇で使用する花を植えるオアシス作りや使用後のポットを洗う仕事、葬祭後に戻ってきた花のリサイクルの種分けを主に行っています。一人でオアシス作りをするのは大変なのですが一生懸命頑張っています。

最後に、「これからも職場の方々との信頼関係を築きながら、与えられた仕事を一生懸命続けていきたい。」と話をしてくれました。この志をいつまでも持ち続けて頑張りたいと思っています。



花を植えるためのオアシスをポットに詰める作業です。丁寧に詰めるよう、心がけています。



使い終わったポットをきれいに洗っています。水が冷たくて大変ですが、やりがいのある仕事です。

○大下良子

9月より成増厚生病院で、病院内清掃の仕事に就きました。就職当初は、不安が非常に強かったのですが、病院の担当の方々のご支援のもと、現在では、「もっと仕事ができるようになりたい！」と意欲的に頑張っています。

現在の仕事内容は、病院内で使うおしぼりをたたむ仕事と職員ロッカーの清掃です。時間内に決められた仕事を終わらせることは大変なのですが、少しでも早くできるようにと一生懸命仕事に取り組んでいます。

病院の方々も「とてもよくやってくれて助かる」と言ってくれています。そのことを本人に伝えると、「仕事をしてたくさんの方に喜んでもらえるのが嬉しい。」と話をしてくれました。

就職をして、3ヶ月。疲れもたまってきて大変ですが、これからも頑張ってもらいたいです。



使いやすいように、丸めていきます。はじめは上手く丸めることができなかったのですが、何度も教えて頂き、できるようになりました。今では、一人でおしぼりたたみを任されています。

病院内で使うおしぼりをたたみます。最初に、一枚一枚折りたたんでいきます。数が多くて大変ですが、丁寧に作業しています。



就労継続支援事業だより



公園清掃風景

落ち葉が降り積もり大変な仕事でしたが、みんなで力を合わせて、頑張って清掃を行いました。

継続支援の現状

今年の9月から年末にかけて、受注の仕事がたくさんありました。また10月を過ぎると、公園には落ち葉がたくさん降り積もり、毎回昼食の時間いっぱいまで清掃作業を行っていました。毎日がとても大変でしたが、みんなが気合いを入れて、懸命に仕事に取り組んでいました。



喫茶ふれんど

新しいメンバーが加わりました。みんなで力を合わせて頑張っています。

受注作業風景

年末年始にかけて色々な仕事が重なって入り、毎日とても忙しかったです。



行事だより



福祉盆踊り大会

豊玉公園で盆踊り大会を行いました。力いっぱい太鼓を叩いて、みんなで楽しく踊りました。

スポーツの集い

みんな頑張って綱引きや競走に参加しました。男子リレーは見事に1位を取ることができました！



11月宿泊訓練

今回の宿泊訓練は新潟に行きました。ホテルでのレクリエーションやリンゴ狩りは、とても楽しかったです。



平成20～21年度 年間行事予定

- 8月 福祉盆踊り大会(豊玉公園)
- 9月 スポーツの集い(東京体育館)
- 10月 健康診断
- 11月 宿泊旅行(1泊2日)
料理教室(年3回)
- 12月 障害者フェスティバル
育成会クリスマス会
親の会クリスマス会
年忘れ会
- 1月 鏡開き
- 3月 福祉マラソン大会
バスハイク
- 5月 東京都障害者スポーツ大会
- 6月 練馬区障害者通所施設合同運動会
バスハイク

事務局だより

●平成20年度事業活動概要報告

(1) 社会福祉法人 未来・ねりま 平成20年度上半期決算報告

平成20年11月28日(金)午前に理事会、評議員会が開催され、平成20年度上半期決算が承認されました。

法人運営は本部職員採用により、運営基盤が整備され、業績も順調に推移しました。また、ねりま事業所の運営実績も当初予算と大きな相違はなく、決算内容は良好でした。

(2) ねりま事業所運営について

ねりま事業所運営は順調に推移し、就労移行支援事業では2人の方が一般就労しました。平成19年から就労移行支援事業を利用しました7人中5人の方が一般就労しました。また、一般就労5人の方への定着支援を行い、それぞれの職場に順調に勤務しています。

就労継続支援事業では、個別支援計画に基づいた利用者支援を行い就労の場を提供しました。従来受注は減少していますが、アパート清掃等の受注が増えたことにより、従来通りに工賃を支給することが出来ました。

(3) ねりま第二福祉作業所の法人内事業所移行について

ねりま第二福祉作業所の法人内事業所移行については、東京都事業者指定係に障害福祉サービス就労継続支援事業(B型)申請書を提出し、平成21年3月迄に事業所指定を受けることとなります。

平成21年4月1日より、就労継続支援事業(B型)ねりま第二事業所として、35名定員で事業開始となります。

施設長はじめ職員体制は現状職員を法人職員として再雇用します。法内新事業体制による業務・事務処理は本部及びねりま事業所職員からの支援のもとで移行業務をスムーズに進めていきます。

●練馬手をつなぐ親の会成年後見制度利用検討部会報告について

社会福祉法人未来・ねりまと連携しました練馬手をつなぐ親の会成年後見制度利用検討部会は平成20年4月から活動し、成年後見制度勉強会は基礎研修3回と専門職や練馬区、練馬区社協講師の専門研修3回の合計6回行い、外部参加者も含めて延べ約250名の方の参加があり、大変好評でした。

勉強会は成年後見制度に知識深く、成年後見制度運用を実際に手掛け、制度利用啓蒙・啓発活動を行っている講師による「成年後見制度利用に向けて」の講演でしたので、非常に意義深く、親の会及び法人にとっても成年後見制度利用を考える端緒になるものと考えています。なお、後半の専門研修には地域福祉課より補助金を受領し、練馬区、練馬区社協権利擁護センターよりご支援を頂きました。

成年後見制度運用組織調査を4か所行い、知的障害者の成年後見制度利用は、現状の成年後見制度適用だけでなく、身上看護(生活支援)が長きにわたることを考えた相談支援体制が必要なことが分かりました。

最終の第7回勉強会として、2月3日(火)午前に勉強会講師によるシンポジウム講演会を行い、知的障害者の成年後見制度利用に向けての具体的提言を、運用方法や相談支援体制を含めた内容で考えていきたいと考えています。

支える会だより

○社会福祉法人未来・ねりまを支える会入会のご案内

<目的> (社福)未来・ねりま及びねりま事業所の充実発展と利用者の支援・啓発に寄与することを目的としています。

<会 員> 利用者・保護者、役員・職員・お取引業者等の法人関係者、親の会会員等でどなたでも入会出来ます。

<年会費> 1口 2,000円ですが、希望口数としては、個人1口以上、団体・企業等5口以上でお願いしています。

<振替口座> 郵貯 00110-4-544768 社会福祉法人未来・ねりまを支える会(払込料金は会負担で手数料は無しです)

<お問合わせ> 練馬区豊玉中 4-10-6(社福)未来・ねりま ねりま事業所内 TEL3948-0275 FAX3948-5864
支える会事務局(齋藤、江連)にご連絡下さい。入会申込書兼入会受付書及び会則をお送り致します。